

平成30年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.93

H30.10.4 「異校種間連携」

本校では、特別支援の生徒の皆さんとの交流を通して、互いに理解し合い、敬い合い、共に感じ合う喜びをの中から、豊かな人間関係を築くことの尊さを学ばせていただいています。

東川養護学校の皆さんとは年に1回、互いの学校を訪問し、交流を深めています。今回は年に3回訪問させていただいている旭川養護学校の皆さんとの交流です。同世代がダンスや音楽、書道等の交流を通して心を通い合わせます。両校の生徒に笑顔が溢れ、とても和やかな時間を過ごさせていただきました。



All for one, and one for all. No.94

*エイリョウ・アラカルト 「書道部から全国作品！」



2年3組の 神谷 美咲さんの作品「西狭頌」（後漢を代表する隷書の碑文）が、平成31年度全国高等学校総合文化祭推薦候補者に選出され、佐賀で行われる全国大会へと駒を進めました。

どっしりと落ち着いた字体は、重厚さと優美さを兼ね備え、鑑る者を圧倒します。（右が作品→）

神谷さんは幼い頃から筆に慣れ親しみ、今でも、自分の思うように書ききれた時は、何とも言えない達成感、充実感を感じると言います。この作品からも、迷いのない集中した神谷さんの姿が浮かび上がります。今後も新たな作品にチャレンジし、書道の魅力を多くの人に伝えて欲しいと思います。



また、3年1組の 濱野 千咲さんの作品「孫秋生造像記」が全道の優秀賞に輝き、こちらも気品と力強さを兼ね備えた傑作となっています。（右が作品→）

今年度は、支部大会の当番校ということもあり、大会準備と作品づくりが重なり大忙しの日々だったと推察します。そんな中、集中力を切らすことなく大作を書き上げた書道部の皆さんには、改めて敬意を表します。部室前の廊下を漂う炭の香りは、心をいつも癒やしてくれます。私も挑戦してみようかな・・・。



All for one, and one for all. No.95

H30.10.8 「ラーメン甲子園」

高校生とラーメン専門店がコラボし、研究に研究を重ねた夢のラーメンを競い合う「ラ

一めん甲子園2018」が5条買い物公園フードテラス前で開催されました。

本校からもLCC（ライフクリエイトクラブ）が初参戦、同じく初参加の「麺屋くるる」さんのご指導を仰ぎながら、遂に「夢のラーメン」を完成させました。スープは豚骨醤油で、豚肉、鶏肉、タマネギ、ニンニク、ショウガ、あじにぼし、根昆布のバランスを考え、精魂込めて仕上げました。麺は旭川製麺でスープとの相性は抜群、トッピングはチャーシューを筆頭に、ワンタン、大根、豆腐、レンコンとこれまた具たくさんのお祭り三昧。

初出場にも関わらず、大勢のお客さんにも動じることなく、次から次へと仕上げていく姿はあっぱれ！チームワークも抜群で、テントの中では小気味のいいかけ声が響きます。



7校8団体がそれぞれの自信作を持ち寄ってのラーメン甲子園に、買い物公園もラーメン一色となりました。

結果は3位と初出場ながら大健闘！順位もさることながら、皆で苦労を重ねて仕上げた「夢のラーメン」は、食べた人の心を幸せにします。麺屋くるるさん、ご指導ありがとうございました！

All for one, and one for all. No.96

*エイリョウ・アラカルト 「美術部、全道優秀賞を獲得！」

美術部から、3年1組の秋元 咲紀さん、2年4組の増田 絢子さんの二作品が、全道優秀作品に輝きました。



秋元さんの作品は「ペンギン」、本物そっくりに仕上げられた立体彫像の何とも愛らしい大作です。本格的に技術を身につけたのは高校に入学してからだそうです、「作品を鑑た人の感想がとても新鮮で、普段経験できないことばかりでした。」と振り返ってくれました。3年次生で、今回が高校最後の大会ということだけに、受賞の喜びも大きかったことと思います。心から「おめでとう！」

2年次生の増田さんの作品は、油彩の人物画。お母さんの影響もあり、幼い頃から絵を描くことに強い関心があったと言います。繊細で人間の内面をも映し出すような筆致に、作品の心中にまで引き込まれていく強いオーラを感じます。増田さんの研ぎ澄まされた感性が、内面をも表現しているのでしょう。次の作品が実に待ち遠しいです。



芸術の秋、読書の秋と言うだけあって、この季節は文化系部活動の皆さんが大活躍です。永嶺生は、本当の意味での「文武両道」を目指し、様々な場で成果を挙げてくれます。

話は戻り、最後は二人一緒に「ハイ、ポーズ」。先輩と後輩がこうして仲良く一緒に映っている姿を見ると、とてもハッピーな気持ちになります。いつまでも仲良しでいてくださいね！

All for one, and one for all. No.97

H30.10.10 「PTA研修会」

PTA庶務委員会で企画した今年度の研修会は「おいしい珈琲の入れ方」です。美鈴珈琲から講師をお招きし、豆の見分け方や挽き方、ドリップ等の使い方に至るまで、プロの技を教えてくださいました。

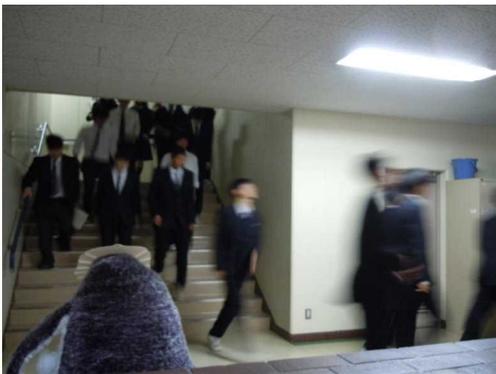
約20名程のPTAの皆様が、いれ立ての美味しい珈琲とスイーツに舌鼓を打ちながら、親睦を深めました。



All for one, and one for all. No.98

H30.10.11 「秋季避難訓練」

地震と、それに伴う火災を想定した「秋季避難訓練」を実施しました。緊急地震速報を合図にシェイクアウトを行い、落下物等から身を守ります。続いて、火災が発生し、避難指示に従い、全校生徒が体育館に移動しました。



記憶に新しい胆振東部地震では甚大なる被害と多くの被災者が出ました。今だに先の見えない生活に苦悩している方々が沢山います。自然災害の猛威は本当に怖いものです。

私たちもいつどこで天災に巻き込まれるかわかりませんが、自分の身を守るための適切で迅速な行動はいかなる状況においても大切です。この訓練を通して「自己危機管理意識」を一層高めて欲しいと思います。

All for one, and one for all. No.99

H30.10.11 「1年次進路説明会」

本校では、3年間を見通した進路シラバスに沿って、定期的に保護者説明会を実施しています。この説明会は、進路に関わるご家庭での話し合いをより充実させていただくための保護者の皆様の情報共有を目的としています。

お忙しい時間帯にも関わらず130名程の皆様がご来校くださいました。説明会では、3年間の進路の取組概要や大学入試制度改革、受験に向けた計画的な学習法など多岐にわたり説明をさせていただきました。

受験までまだまだあるというのは時間的な錯覚に過ぎません。この年次のこの時期にやるべきことははっきりとしており、その継続的なプロセスの先に進路希望の実現があります。高校は決して学習だけを目的としているわけではなく、様々な形態の教育活動を通して、人間形成を図り、人間力を育てていきます。そのため、物理的な時間の概念を生徒個々が



しっかりと把握し、その上で無理のない学習計画を立てることが重要になります。

保護者の皆様にはお子様とのコミュニケーションを密にさせていただき、前向きで意欲的な思いや取組を、対話を通して是非サポートしていただくようお願いいたします。

All for one, and one for all. No.100

*エイリョウ・アラカルト 「吹奏楽局、マーチング部門で金賞！」



13日、「オータムコンサート」を多くの関係各位のお力添えで無事終了することができました。心より厚くお礼申し上げます。

このコンサートを機に3年次生が仮引退となることから、局員の思い出も普段以上であったと思います。

ご来場の皆様には、本格的なクラシックから得意とするダンスプレ、ミュージカルなど幅広いジャンルをお楽しみいただいたのではないのでしょうか。また、小学生を中心とするダンスグループ「HAPPY DANCE STUDIO」の皆さんのパフォーマンスや、特別ゲスト「オリタノボッタ」さんの演奏が会場をさらに盛り上げていただきました。

この勢いが翌日の「北海道マーチングバンドフェスティバル」での演奏にもつながり、見事金賞を受賞、全国大会への切符を手にしました。これも多くの皆様のサポートがあったのと、感謝の気持ちで一杯です。

All for one, and one for all. No.101

*エイリョウ・アラカルト 「テニス部、全道でも善戦」

テニス部が苫小牧で開催された秋季全道大会から帰ってきました。今回は男女揃っての全道出場！

男子は、団体で「全道ベスト16」入り。レギュラー9人中6人が1年次生という何とも若いチームなのに、並み居る強豪に怯むことなく、本当によく頑張りました。次年度の試合が今から楽しみです。

また、女子団体は男子を上回る「全道ベスト8」と、これまた大健闘。旭川永嶺と帯広南商以外はすべて札幌の強豪校が占める中、最後の最後まで粘り強く戦い抜いた選手の皆さんには心から拍手を送りたいと思います。

男女ともに日増しに強くなっているテニス部、学習としっかり両立しながらのこの成績は実に立派です。



All for one, and one for all. No.102

H30.10.16 「英語でボランティアガイド」

グローバル教育の一環として取り組んでいる指定事業「高等学校英語力向上事業」の中で、本校生徒が英語でのボランティアガイドを務めました。場所は旭山動物園、海外観光客を相手に英語でガイドをするという試みです。

5つのグループに分かれて、旭山動物園を訪れた海外観光客の皆さんを施設へと案内し



ます。ペンギンチーム、ホッキョクグマチーム、アザラシチーム、オラウータンチーム、記録チームに分かれての総勢23名がガイドに挑戦しました。それぞれのチームには英語教諭も帯同し、生徒のガイドを側面からサポートします。

「〇〇チーム」とネーミングは何とも愛らしいですが、生徒個々は身振り手振りを交えながら大奮闘、その姿に旭山動物園の職員の皆様から心温まるお褒めの言葉をいただきました。

これからの社会は、あらゆる場面で英語力が問われる時代となります。本校ではグローバル感覚をいち早く身につけてもらうために、年間を通して様々な実践を試みています。

All for one, and one for all. No.103

*エイリョウ・アラカルト 「放送局、ラジオ番組部門で堂々の1位」

高文連上川地区放送コンテストで、本校が「ラジオ番組部門」で堂々の1位を獲得しました。この部門には8校が参加、昨年度の全国大会出場チームの貫禄でしょうか、堂々の優勝となりました。

題目は「下水道バナナ」、何のことやら想像もつかないかと思いますが、下水道処理で発生するガスを熱源としたバナナ栽培の取組を取材したものだそうです。是非お昼休みの放送で流して欲しいと思います。

また、ビデオメッセージ部門では、旭川市科学館サイパルのサイエンスボランティアを取材した作品が2位となりました。

11月に開催される全道大会でも、力を存分に発揮してきてください。



© Can Stock Photo

All for one, and one for all. No.104

H30.10.18 「後期生徒総会」



新執行部の最初の仕事になる「後期生徒総会」が開催されました。代表者からの議案説明、質疑応答、審議の手順を経て承認となります。この日は学校行事等について、いくつかの質問が出ましたが、最終的に全ての議案が承認されました。

学校は教師だけでなく生徒も一緒になって築いていくものです。一つの課題をクリアーするために必要な方策を皆でとことん話し合い、実践に繋げていくための努力が大切です。

新執行部はこの総会前に校長室を訪れ、今後の抱負や考えを語ってくれました。疑問や対策案を語る生徒の言葉は、とても新鮮であり、また活力を感じます。何事も眺めているだけではなく次のステップに足を踏み出すことが重要です。前執行部の皆さんにも力強さを感じましたが、新執行部の皆さんにも無限のエネルギーを感じました。



H30. 10. 20 「どさんこ☆子ども地区会議」



上川教育局が主催する「どさんこ☆子ども地区会議」が本校を会場に開催されました。管内小・中・高の児童生徒、保護者、引率教諭の皆さん、総勢200名近い学校関係者が一堂に会し、「いじめ根絶」に向けた協議がなされました。

開会式に続いて、「いじめ・ネットトラブル根絶！メッセージコンクール」の表彰式が行われ、受賞者お一人ずつに上川教育局次長様から表彰状が手渡されました。

その後、グループに分かれアイスブレイクで互いの心を和ませ、管内全ての学校で実践が可能な取組や考え方について、協議・発表が行われました。参加者の表情からは、「いじめは絶対に許さない！」という真剣さを感じれます。最後は再び参加者全員で集まり、一日の協議内容の確認を行いました。



運営や進行は主に本校生徒会執行部があたり、その対応に関係各所からお褒めの言葉を沢山いただきました。私も見学させてもらいましたが、しっかりとした言動に安心と頼もしさを感じました。特に、閉校式での会長さん、副会長さんの挨拶の中で、「会議での話し合いだけで終わらせるのではなく、各自が学校に持ち帰り実践することで、この管内からいじめをなくしましょう！」という言葉に感銘を受けました。



執行部の皆さん、朝早くから本当にお疲れ様でした！

H30. 10. 23~27 「見学旅行」

23日早朝、2年次生275名全員が時間どおりに学校に集合、いよいよ高校生活最大の行事「見学旅行」に出発です。朝の凜とした寒さにも怯むことなく、生徒はこれから始まる思い出づくりに満面の笑みで学校をあとにしました。



新千歳空港から羽田経由で、最初の目的地広島へ。生憎の雨でしたが、原爆ドームを見ながら平和記念公園でセレモニー、そのまま資料館見学と、予定どおり平和学習を行いました。「平和は黙っていて訪れるものではなく、自分たちの手で維持していくもの」であることを改めて認識しました。

2日目は、被爆者の方から直にお話を聴き、戦争の悲惨さに沈痛な思いになりました。「平和は絶対に守り続けなければ」と、誰もが思ったことでしょう。一行はそのままフェリーで宮島へと移動。厳島神社のあまりの荘厳さに皆が驚嘆！その美し



さの余韻に浸りながら、午後から新幹線で大坂の宿舎へと向かいました。



3日目は大坂自主研修、各グループがお目当ての場所で、北海道とは全く異なる文化を満喫しました。終着は京都の宿舎でしたが、全員迷うことなく無事帰着。昔と違い、スマホの正確な時刻表や位置ナビの威力は大変なものです。

4日目は、清水寺を全員で見学した後、京都自主研修。バスや電車をフルに活用して由緒ある場所を目に焼き付けてきます。日本の良き伝統や優れた文化を肌で感じてきたことでしょう。

最終日は奈良東大寺へ。金剛力士像を横目に東大寺大仏に圧倒され、鹿に追われながら奈良公園を散策。そろそろ疲れもピークかと思いきや、生徒たちは最後まで元気いっぱい研修を深めていました。



振り返ると、雨は初日の広島だけ。二日目からは天候にも気温にも恵まれた清々しい見学旅行となりました。時間とともに、様々な思い出が脳裏や胸中に刻まれ、いくつになっても仲間が集まった時の楽しい思い出として語られることでしょう。